

南港生きもの育て隊 アオサ取り

NPO法人南港ウェットランドグループ

「東アジア・オーストラリア地域渡り性水鳥重要生息地ネットワーク」に登録されている大阪南港野鳥園には、干潟が人工的に創出されています。本野鳥園は干潟のある野鳥園の設置を求めた市民活動が契機となり大阪市が開園に踏み切りました。

この干潟には、貝、ゴカイ、カニなどの多様な生き物が生息し、これらの小さな生き物を食べる渡り鳥のシギ・チドリ類が集まります。大阪南港野鳥園では、NPO法人南港ウェットランドグループが指定管理者となり行政、NPO法人、市民、企業ボランティアの協力のもと、野鳥の保護など専門性が高く高度な環境保全活動を継続的に行っています。

平成18年の手づくり郷土賞（地域活動部門）受賞以降、NPO法人化したことも影響し、活動がさらに充実し、アオサ取りや干潟の清掃だけでなく、シギ・チドリ類などの野鳥や干潟の生きもの調査・観察会、来園者への観察指導、湿地の役割や楽しさを伝える教育・普及活動等



多種多様な生き物が生息する干潟

月に1度以上のイベントを開催しています。

大阪市の都市部の直ぐ側に存在する湿地帯は、多くの市民の環境学習の場となっており、今後ますます多くの人が訪れる場所となることが期待されます。



干潟の表面を痛めないようにアオサ取りをする様子



考案・制作したアオサ取り回収船



ハクセンシオマネキの観察。
生息地を荒らさないように遠くから望遠鏡を使用して観察している



バードウィーク市民探鳥会「南港生きもの発見隊」の活動の様子

- ◆所在地
大阪府大阪市住之江区南港北3丁目5番30号
- ◆活動内容
アオサ取り：毎年6～7月
野鳥や干潟の生きもの生息調査・観察会、観察指導：通年
- ◆活動主体名
NPO法人南港ウェットランドグループ
(<http://www.osaka-nankou-bird-sanctuary.com/>)
- ◆連絡先
NPO法人南港ウェットランドグループ（大阪南港野鳥園内）
06-6613-5556

